

自己像の不安定性がいじめ加害行動に及ぼす影響

—1 学年間による縦断調査—

原田宗忠 (愛知教育大学大学院)
○黒川雅幸 (愛知教育大学)

中井大介 (愛知教育大学)

キーワード：自己像の不安定性、いじめ加害経験、いじめ被害経験

問題と目的

平成 27 年度における小学校のいじめの認知件数は 151,692 件、中学校では 59,502 件も報告されており (文部科学省, 2017), 火急に取り組まなければならない課題である。

いじめに関与していない者の多くは、その後もいじめに関与しない傾向がみられ、安定していることが示されているものの、加害者や被害者、加害者と被害者の両方の立場で関与しているものは、その立場が変わる場合もあることが示されている (Burk, Armstrong, Park, Zahn-Waxler, Klein, & Essex, 2011)。いじめ被害者に関して、常に被害者であるとは限らず、加害者となる場合もあると報告されている (Hazler & Carney, 2000)。

いじめ被害者が加害行動を行うことには、自己像の不安定さが関係していると考えられる (原田, 2016)。自己像とは、自己を客体視する時に浮上する自己に対する像であり、その自己像が体制化されて体形的に統合されたものが自己概念である (榎本, 2013)。これまでの研究では、いじめ被害や自己像の不安定性がいじめ加害と関係する可能性が示唆されているものの (原田, 2016)、いじめ被害と自己像の不安定性の因果関係は明らかにされてこなかった。そこで、本研究では 3 時点の調査によってこれらの関係を明らかにすることが第 1 の目的である。また、原田 (2016) では中学生が対象であったが、小学生でもこの関係がみられるかを検証することが第 2 の目的である。

方 法

調査対象者 小学校 5, 6 年生 420 名 (男子 222 名, 女子 198 名), 中学校 1~3 年生 942 名 (男子 449 名, 女子 493 名) の計 1,362 名であった。

調査時期 1 学期, 2 学期, 3 学期の各学期において 1 回ずつ調査を実施した。

調査手続き 学級単位で質問紙調査を実施した。
質問紙の構成 自己像の不安定性：小塩 (2001) の 5 項目であった。いじめの被害経験と加害経験：岡安・高山 (2000) で用いられているいじめ加害経験に関する 3 項目といじめ被害経験に関する 3 項目を使用した。第 1 回目の調査では、今の学年になってから回答時までのことを回答してもらった。第 2 回目, 第 3 回目の調査では、それぞれ第 1 回目の調査, 第 2 回目の調査以降から回答時までのことを回答してもらった。これらの項目を、あてはまらない (1 点), あまりあてはまらない (2

点), どちらでもない (3 点), ややあてはまる (4 点), とてもあてはまる (5 点) の 5 件法で尋ねた。

結 果

自己像の不安定性 因子分析 (最尤法) を行ったところ, 第 1~3 回目のいずれにおいても 1 因子構造であった。

いじめの被害経験と加害経験 因子分析 (最尤法, プロマックス回転) を行ったところ, 第 1~3 回目のいずれにおいても 2 因子構造であった。

尺度の得点化 それぞれの項目間の信頼性係数は十分高かったので ($\alpha=.75\sim.81$), 1 項目あたりの平均値を算出し, 尺度得点とした。

いじめ被害経験/加害経験の縦断分析 Figure1 の交差遅延モデルを構築し (誤差項の記載は省略), 多母集団同時分析を行った。モデルは採択され ($\chi^2(12)=11.48, n.s.$), 適合度指標や情報量規準は GFI=1.00, AGFI=.99, CFI=1.00, RMSEA=.00, AIC=167.48 であった。有意または有意傾向が示されたパス係数は Table1 の通りであった。

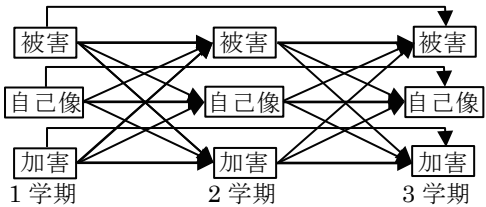


Figure 1 本研究のモデル

Table 1 モデル内のパス係数

	1 学期			2 学期		
	被害	自己像	加害	被害	自己像	加害
2 学期						
被害	.43/.58	-.1/.07	-. / -			
自己像	-. / -	.49/.63	-. / -			
加害	-.1/.12	-. / -	.37/.47			
3 学期						
被害	.18/.23			.36/.49	.12/ -	.14/ -
自己像		.14/.30		-. / -	.51/.44	-. / -
加害			-.1/.26	.10/.06	-. / -	.42/.38

注) 小学生/中学生, -: n.s.